

平成23年度 保護者アンケート(全体)

1…そう思う 2…大体そう思う 3…あまりそう思わない 4…そう思わない 5…分からない
 評価（1～5）のあてはまるところに○を入れてください

回収率 全体…76%

数値は%

実践分野	具体的な実践内容	評 価				
		1	2	3	4	5
保育相談部	音声言語、身振り・手話、絵カードなど様々な手段を使い、親子の活発なコミュニケーションを促している。	38	23	3	0	36
	個々の幼児に合った教材を用意し、聴覚活用を促しながら遊びを進めている。	23	20	18	3	36
	保護者の抱える悩みや幼児の課題について話し合い、適切なアドバイスを行っている。	13	28	15	5	39
	手遊びDVDの配布や再現遊びのおもちゃ作りなど、家庭でも親子で取り組めるよう具体的な指導やアドバイスを行っている。	31	25	8	0	36
	聴覚障害に対する理解を深めるための保護者研修や学級懇談を定期的に行っている。	49	15	0	0	36
幼稚園部	幼児の発達を踏まえた保育に取り組んでいる。	23	39	5	5	28
	個々の幼児の課題を明確にし、個別指導や発音指導を充実させている。	31	21	5	10	33
	行事や交流活動を通じて、主体的に取り組む姿勢や協力する気持ちなどを育成している。	36	28	3	3	30
	保護者や各家庭の事情を的確に踏まえ、必要な保護者支援を継続的に行っている。	21	20	8	15	36
	いろいろな保護者研修を定期的に行い、聴覚障害教育への理解を促している。	38	28	0	3	31
相談センター一部	医療機関との連携をとり、補聴支援を行っている。	20	18	10	3	49
	「きこえとことばの相談」を行い、地域の聴覚障害児のセンター的機能を担っている。	15	31	3	3	48
	担任と連携し、聴力測定を適切に行い、聞こえの状態の把握を継続的に行っている。	18	26	15	0	41
開かれた学校づくり	学校行事を通して本校の教育活動を広く公開し、聴覚障害教育への理解啓発に努めている	36	41	3	0	20
	保護者の保育への参観と参加を促し、本校教育に対する理解を深めている。	39	41	5	0	15
	HPを通して本校の新しい情報をできる限り提供している。	41	33	5	0	21
	研究授業や様々な研修を通して、自己の専門性の向上に努めている。	26	36	10	0	28
危機管理	心肺蘇生法及びAEDの講習を行い、幼児の命を守る技術と意識を高めている。	41	23	5	3	28
	避難訓練を通して、命や安全への意識、速やかな避難の大切さを認識させている。	53	23	3	3	18
	施設・設備の点検や管理を日常的に行い、事故防止に努めている。	18	33	8	3	38
健康教育	消毒セットの常備（環境衛生）や手洗いうがい等の励行により、感染症を予防している。	40	46	3	3	8
	保健だよりや保健のお話等を通じ、親子の健康管理に対する意識を高めている。	61	31	3	0	5
給食	楽しい雰囲気の中で、望ましい食習慣や態度を身につける指導を継続して行っている。	54	15	0	0	31
	お箸の持ち方や手洗い、歯磨きの徹底など、正しい食習慣の定着に努めている。	51	13	0	0	36
人権教育	集会活動等で、全体の前での発言や司会を通して自立心や自尊感情を育成している。	46	28	3	0	23
	飼育・栽培等の学習を通して、自然とのふれあいや生命の尊さを実感させている。	33	41	5	5	16
その他	ウサギの飼育や畑の割り当て、苗の購入など、動植物の環境整備を適切に行っている。	28	41	15	3	13
	ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施し、親子で絵本を読む習慣を促している。	31	38	8	5	18